MITSUBISHI

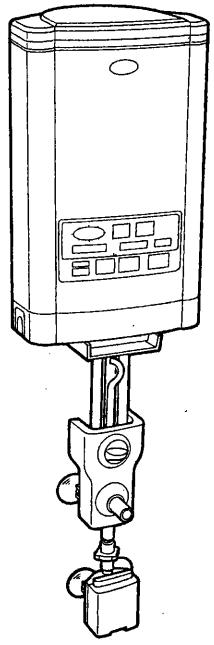
三菱24時間風呂

形名

BJ-101

取扱説明書

一番風呂



ご使用のまえに

●安全のために必ず守ること……1
●きれいなお湯をお使いいただくために …4
●各部のなまえとはたらき……5
●知っておいていただきたいこと……7

使いかた

●使い始めの手順とポイント……8
●運転する……9
●入浴する……10
●湯温を設定する……11
●水流を切換える……11
●現在時刻を設定する……12
●おこのみ保温を使う……13
●呼び水のしかた……15

お手入れのしかた

●お手入れと交換のめやす……16
●お手入れと交換のポイント……16
●浄化材を洗浄する……17
●プレフィルターを洗う・交換する…18
●ホースの内側と本体内部を洗う……19
●浄化材とフィルターを交換する……21

こんなとき

●故障かな?と思ったら……22
●10日間以上使用しないとき……25
●停電したとき……25
●保証とアフターサービス……26
●仕様……裏表紙

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと据付工事説明書とともに大切に保存し、必要なときにお読みください。
●保証書は必ず「お買上げ日・据付工事店（販売店）名」などの記入を確かめて、据付工事店（販売店）からお受取ください。
●お客さまご自身では据付けないでください。➡安全や機能の確保ができません。
●添付別紙の「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」は、大切に保存してください。

安全のために必ず守ること

●ご使用のまえに、この欄をお読みになり、正しく安全にお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、据付工事説明書とともに、お使いになるかたがいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示と意味は次のとおりです

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

試運転は据付工事店（販売店）の立会いのもとで行なってください。安全を確保するための正しい使いかたについて、据付工事店（販売店）から説明を受けてください。

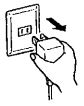
図記号の意味は次のとおりです

	絶対に行わないでください。
	絶対に移設や修理：分解・改造をしないでください。
	必ず指示に従い、行なってください。
	必ず漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
	必ずアース工事を確認してください。
	注意してください。

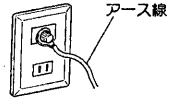
⚠警告

本体が転倒防止金具を使って確実に固定されているか確認する
固定されていないと振動などにより本体が転倒して感電・けがの原因になります。

異常時（焦げ臭い・漏電保護プラグまたは電源トランスのリセットスイッチがはたらく）は使用を中止して漏電保護プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
異常時は、据付工事店（販売店）または三菱電機サービスセンターか三菱電機お客さま相談窓口へご連絡ください。



アース工事を確認する
アース工事をしていないと故障や漏電のとき感電の原因になります。
アース工事は、据付工事店（販売店）または三菱電機サービスセンターか三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。



コンセントはAC100Vで12A以上を単独で使用する
AC100V以外やタコ足配線などをすると火災・感電の原因になります。

月に一度は漏電保護プラグのテストボタンを押して動作を確認する
漏電保護プラグの動作に異常があると感電の原因になります。➡25ページ

⚠警告

漏電保護プラグは電源コードを下向きにしっかり差込む
コードを上にしたり差込みがゆるいと、ほこりが付着して火災・感電の原因になります。

濡れた手で漏電保護プラグや電源トランスには触らない
感電の原因になることがあります。

電源コードの上に重いものを載せたり、ドアなどに挟みこまない
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

小さなお子さまの浴槽への転落には注意する
一日中浴槽に湯が満たされており事故の原因になります。

小さなお子さまだけで入浴させない
お子さまが浴槽内で転倒したとき事故の原因になります。

浄化材を開封するときは粉末が目に入らないように注意する
誤って目に入った場合は、ただちに水道水で洗眼し、医師の治療を受けてください。

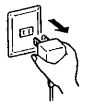
浄化材はお子さまが誤って飲食するような場所には保管しない
誤って飲食してしまったときは、ただちに医師の治療を受けてください。

本体に直接シャワーなどで水やお湯をかけない
本製品は防水構造ではありませんので火災・感電の原因になります。

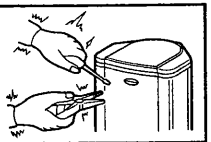
お酒を飲んだあとや疾病中、妊産婦のかたは泡風呂は使用しない
使用すると体調を崩す原因になります。

泡風呂のまま長時間入浴したり、泡を目や耳、キズ口に直接当てない
長時間入浴するとのぼせ・疲れの原因になり、目や耳、キズ口に当てると炎症の原因になります。

本体が水没したときには使用を中止して漏電保護プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
水没したときは、据付工事店（販売店）または三菱電機サービスセンターか三菱電機お客さま相談窓口へご連絡ください。



お客さま自身で移設や修理・分解・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
移設や修理をする場合は、据付工事店（販売店）または三菱電機サービスセンターか三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

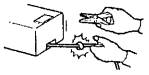


⚠注意

屋外に設置されていないことを確認する（本製品は屋内専用です）
火災・感電の原因になることがあります。

電源トランスが浴室や水分のかかる場所に設置されていないことを確認する
火災・感電の原因になることがあります。

電源コードを引張ったり、傷つけたり、加工したりしない
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。



漏電保護プラグはコードを持って抜かない
発熱・発火の原因になることがあります。

漏電保護プラグや電源トランスに水分をかけない
火災・感電の原因になることがあります。

本体や電源トランスの上に乗ったり、押したり、引っ張ったりしない
転倒・落下・製品の破損などにより感電・けがの原因になることがあります。

電源トランスの上に物を載せたり、通気穴をふさいだりしない
火災・やけどの原因になることがあります。

定期的に本体の固定（取付けにガタのないこと）を確認する
固定に不備があると落下・転倒してけが・故障の原因になることがあります。

長期間使用しないときは運転を中止して漏電保護プラグを抜く
ほこりが付着して火災・発熱の原因になることがあります。

雷雨時は使用を中止して漏電保護プラグを抜く
火災・漏電・ショートの原因になることがあります。

浴槽内にヌメリが付着したときはスポンジなどで落とす
滑ったり、転倒して事故・けがの原因になることがあります。

浴槽の湯または水を飲料水として使用しない
体調を損なうことがあります。

皮膚に異常（湿疹・かゆみなど）を感じたときは、使用を中止して専門医に相談する

きれいなお湯をお使いいただくために

『一番風呂』ではお湯をきれいにするために、浄化材として特殊活性炭を使用しています。お湯を特殊活性炭の中に通すことにより汚れを吸着し、特殊活性炭のバイオのはたらきでお湯を浄化します。
きれいなお湯をお使いいただくために、次のことをお守りください。

- 水道水を使用してください。井戸水や温泉水などをお使いになった場合は、浄化性能が保証できません。また、水質によっては、使いはじめに浄化性能がうまくはたらかないことがあります。

- お湯には何も入れないでください。入浴剤や薬草などを入れると、浄化に影響を与えることがあります。
- 化粧品や塗り薬などを使用しているときは、よく洗い流してから入浴してください。
- 浴槽に入る前に塩分や鉄粉、石鹸やシャンプー・リンスなどはよく洗い流してください。
- 浴槽内で身体やペットを洗ったり、タオルなどを入れないでください。
- 薬を常時服用している方が入浴する場合、お湯が濁ることがあります。
- アトピー性皮膚炎や糖尿病の方など入浴する方の体質によってはお湯が濁ったり、プレフィルターや浄化材の交換時期が早まることがあります。

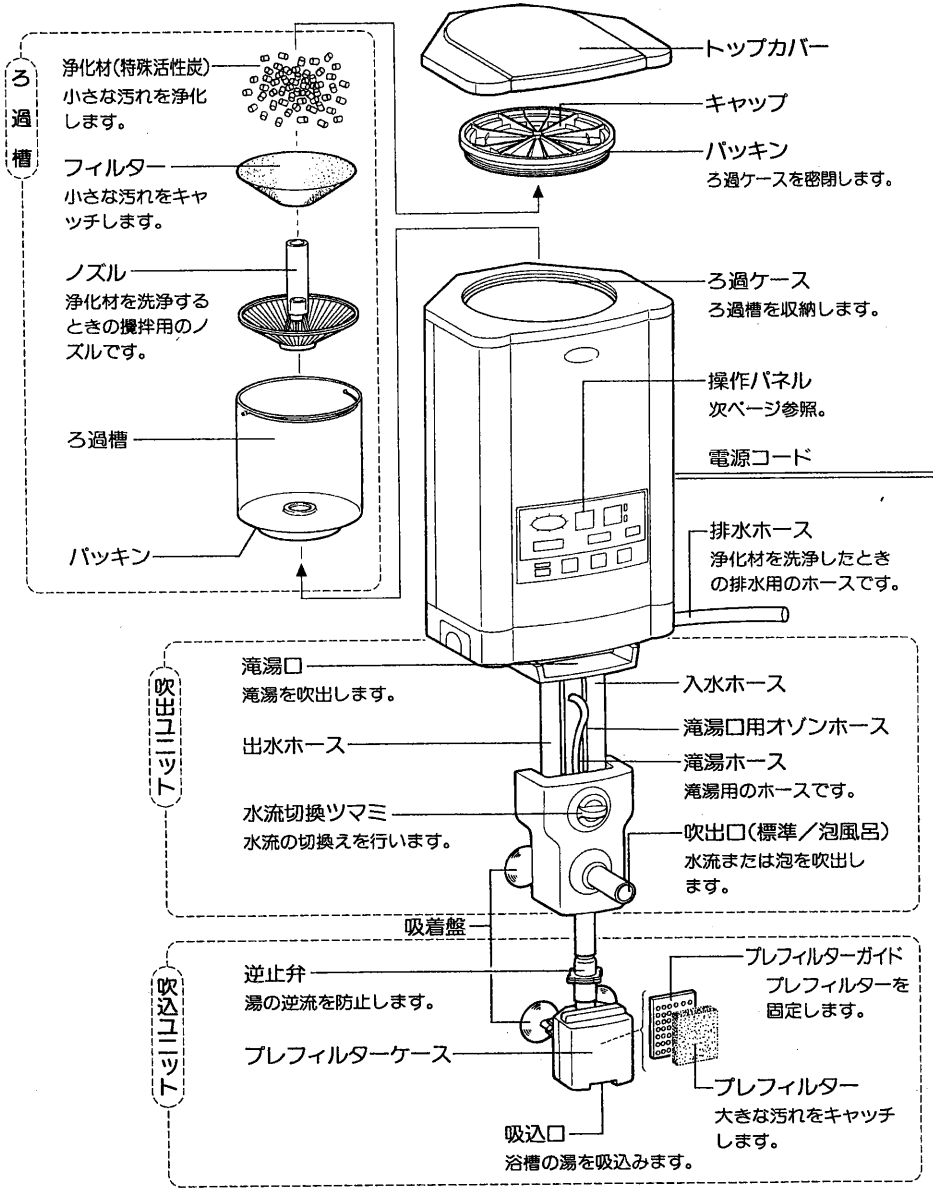
- バランス釜やガス釜が付いた風呂のときは『一番風呂』をお使いになる前に、市販の洗浄剤で釜の内部をよく洗浄してください。また、定期的に釜の洗浄を行なってください。
- プレフィルターは、１日１回洗浄してください。➡18ページ
- 一番風呂のホース内側や本体内部が汚れると、お湯の流れが悪くなり、浄化性能が低下することがありますので、定期的にホースの内側と本体内部を洗浄してください。➡19～20ページ

- 多くの方が入浴するとき、浄化性能がおいつかないことがあります。そのときは時間をあけて入浴してください。
- お湯の循環しにくい場所に若干のヌメリが付着する場合があります。そのときはスポンジなどでヌメリを落としてください。普通の汚れとともに浄化されます。
- お湯の表面に浮いたゴミは浄化するまでに時間がかかることがあります。
- 砂・土・鉄など浴槽の底に沈むものや排泄物、断水後の赤水は浄化できませんので、お湯を入替えてください。

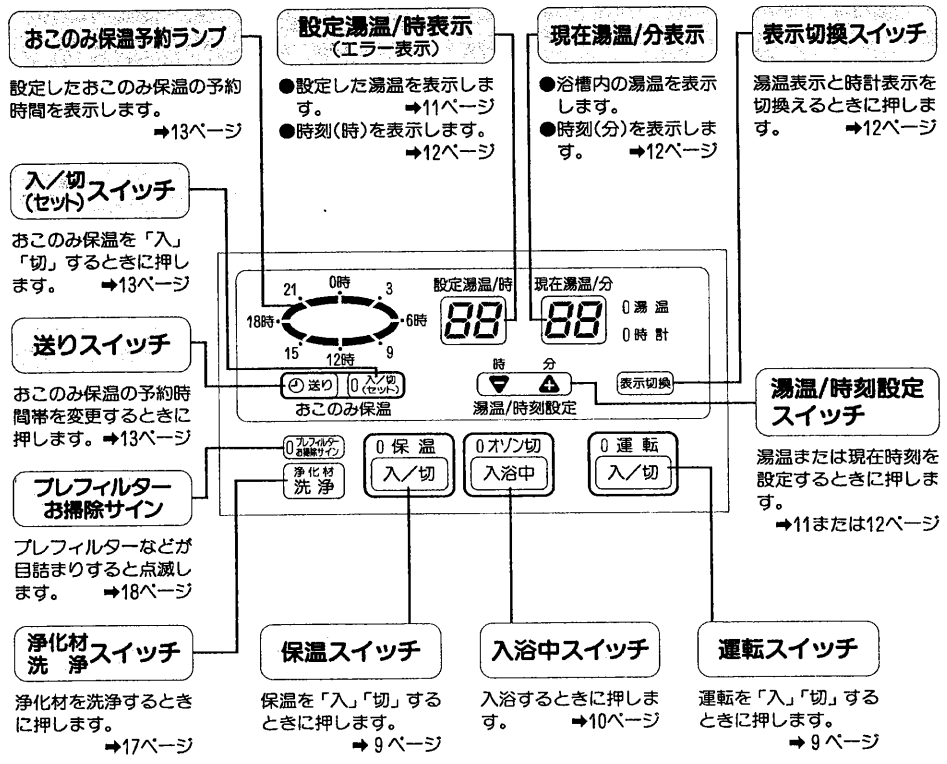
- 長期間運転を停止するときは、浴槽のお湯を抜いてください。お湯を張っておくと、ヌメリの付着が増えて異臭の原因になります。
- お湯が濁った場合は、運転を停止してお湯を入替えてください。

各部のなまえとはたらき

本　体



操作パネル



知っておいていただきたいこと

浄化材の自動洗浄について

- 『一番風呂』には浄化材の自動洗浄機能を備えています。これは浴槽内のお湯を使って浄化材の汚れを洗い流し、汚れたお湯を浴槽外へ排出するもので、毎日お昼の12時に行ないます（時刻設定時➡12ページ）。自動洗浄によって、毎日約６Ｌづつ浴槽のお湯が減りますので、定期的に足し湯をしてください。
- ５日間以上「入浴中スイッチ」を押さないと、入浴していないものと判断し、浴槽の湯減りを防ぐために自動洗浄を停止しますので、入浴中は必ず「入浴中スイッチ」を押してください。
- 初めて使うときや浄化材を交換したときは「浄化材洗浄スイッチ」を押して、自動洗浄の動作音（活性炭がキャップに当たる音）を確認してください。動作音がしない場合は、自動洗浄機能がうまくはたらきませんので、16ページのポイントを参考に浄化材を入れ直してください。
- 自動洗浄を行うと配水ホースから黒いお湯が出る場合があります。これは浄化材に付着した汚れや特殊活性炭の微粉末です。

保温について

- 『一番風呂』に沸上げ機能はありませんので、湯張りをするときはお使いの給湯器で設定温度の湯を張ってください。
- 保温効果を高めるため、必ず風呂にフタをしてください。なお、市販の浴槽用保温シートを利用すると、より保温効果が高まります。
- 冬場には設定温度に保てない場合があります。そのときはお使いの給湯器で湯温を上げてから入浴してください。
- おこのみ保温を使用する場合、予約時間帯になっても設定湯温になりませんので、お使いの給湯器で湯温を上げてから入浴してください。一度設定湯温まで上げれば、そのあとは設定湯温で保温します。

その他使用上のご注意

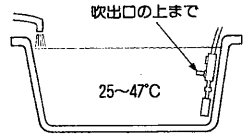
- 水流切換ツマミを「標準」にしても、オゾン殺菌中は吹出口から泡が出ます。➡10、11ページ
- 湯温は48℃以上にしないでください。48℃以上になると自動的に運転を停止して本体を保護しますが、吸込ユニット・吹出ユニット・ホースが熱で変形することがあります。
- 吸込口や吹出口をふさがないでください。
- 入浴しないときは風呂フタをしっかり閉めてください。お湯が１日中保温されていますので、湯気により、浴室の結露の原因になります。
- 停電して運転が停止したときは、25ページを参考に運転を再開してください。
- 鉄分の多い水をお使いのところでは、浴槽に鉄さびが付着し、茶色に色がつくことがありますので、その際はすぐに拭き取ってください。また、浴槽の底に鉄さびが沈んでいたら、すぐに取り除いてください。
- 寒冷地でご使用の場合、運転を停止するとポンプ内部が凍結することがあります。再び運転をはじめるときは、40～45℃のお湯をろ過槽内部に八分目ほど入れ、20分くらいたってから「運転スイッチ」を押してください。

使い始めの手順とポイント

使い始め

1 浴槽に湯を張る

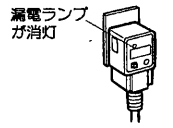
ポイント



■湯温が高すぎると運転を停止し、低すぎると保温機能が停止します。
➡23ページ

2 漏電保護プラグをコンセントに差込む

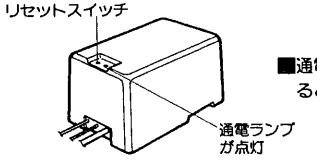
ポイント



■漏電ランプが点灯していると運転できません。
➡22ページ

3 電源トランスのリセットスイッチを押す

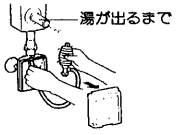
ポイント



■通電ランプが消灯していると運転できません。
➡22ページ

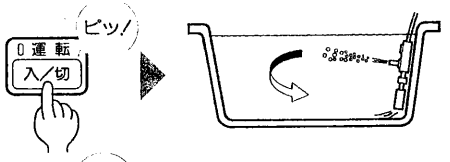
4 呼び水をする
➡15ページ

ポイント



■呼び水をしないと循環ポンプまで湯が回らず、運転できません。
➡23ページ

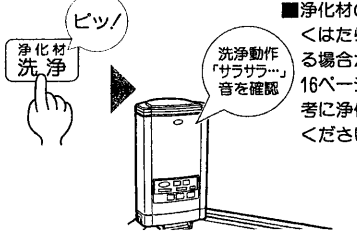
●運転スイッチを１秒以上押す
➡９ページ



●浄化材洗浄スイッチを１秒以上押す
➡17ページ

約30秒後

自動的に運転を開始します。



■浄化材の洗浄機能が正しくはたらかないと湯が濁る場合があります。16ページのポイントを参考に浄化材を入れ直してください。

入浴するとき

1 入浴中スイッチを押す

■運転をはじめてから５日間以上入浴中スイッチを押さないと、浴槽の湯減りを防ぐため浄化材の自動洗浄を停止します。
➡17ページ

運転する

運転スイッチを「入」にすると、浴槽内の湯を循環・浄化・殺菌し、設定湯温（お買上げ時は42℃）で保温を行ないます。

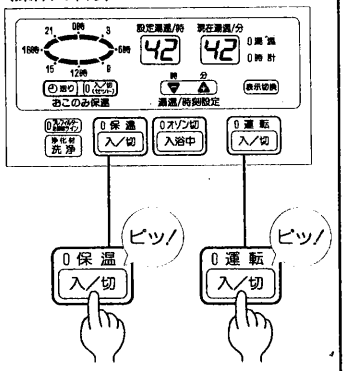
運転を始めるまえに

■初めてお使いいただくときは、15ページの手順に従って必ず呼び水を行なってください。

運転 〔運転 入/切〕 **を1秒以上押す**

●運転ランプと保温ランプが点灯。
●設定湯温と現在湯温を表示。
●おこのみ保温予約ランプが全て点灯。

〈操作パネル〉



■操作パネルに“C3”が表示されたときは浴槽の湯温が高すぎます。➡水をたすなどして湯温を下げ、運転スイッチを押し直してください。➡23ページ
■操作パネルに“U3”が表示されたときは浴槽の湯温が低すぎます。➡本製品に沸上げ機能はありません。給湯器等で追焚き・さし湯などをして湯温を上げてください。➡23ページ
■操作パネルに“C2”が表示されたときは呼び水が不足しています。➡運転スイッチを押して「切」にし、もう一度呼び水を行なってください。
➡15ページの手順❸～

停止 もう一度 〔運転 入/切〕 **を1秒以上押す**

●運転ランプと保温ランプが消灯。
●設定湯温と現在湯温の表示が消える。
●おこのみ保温予約ランプが全て消灯。

▼

運転を停止すると浴槽内の湯の循環・浄化・殺菌・保温の全ての機能を停止します。

●保温を停止する

停止 **運転(運転ランプ点灯)中に**

〔保温 入/切〕 **を1秒以上押す**

●保温ランプが消灯。
●設定湯温が“－－”表示になる。
●おこのみ保温予約ランプが全て消灯。

■保温を停止し、浴槽の湯温が20℃以下になると、操作パネルに“U3”が表示されます。ふたたび保温するときは、給湯器等で追焚き・さし湯などをして湯温を設定湯温に上げてから保温スイッチを押して「入」にしてください。

入浴する

運転中はオゾンを発生して浴槽内の湯を殺菌していますが、オゾン独特の臭いがする場合がありますので、入浴するときは入浴中スイッチを押してオゾンの発生を停止してください。

入浴 **運転(運転ランプ点灯)中に**

〔オゾン切 入浴中〕 **を押す**

●オゾン切ランプが点灯。

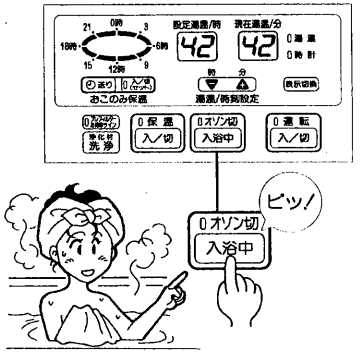
▼

オゾンの発生を約1時間停止します。発生1分前になると、オゾン切ランプが点滅してお知らせします。

▼

1時間後、自動的にオゾン切ランプが消灯してふたたびオゾンを発生します。

〈操作パネル〉



延長 **入浴(オゾン切ランプ点灯または点滅)中に**

〔オゾン切 入浴中〕 **を押す**

●オゾン切ランプが点灯。

▼

オゾンの停止をさらに約1時間延長します。

■運転をはじめてから5日間以上入浴中スイッチを押さないと、浴槽の湯減りを防ぐため浄化材の自動洗浄（17ページ）を停止し“U2”が表示されますので入浴するときは必ず入浴中スイッチを押してください。

浄化のしくみ

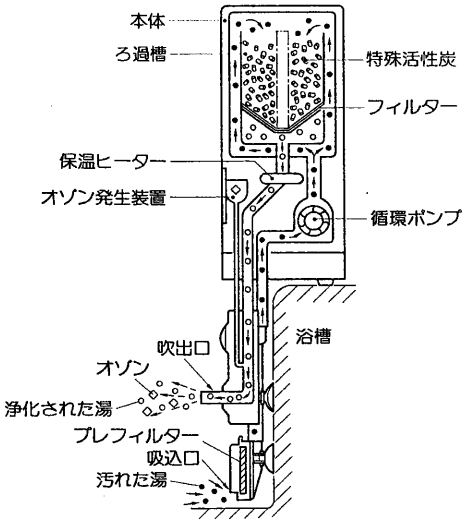
①循環ポンプで浴槽の湯を吸込み、プレフィルターで大きな汚れをキャッチします。

②浄化材（特殊活性炭）でタンパク質や脂肪などを浄化します。
〔浄化材に付着した汚れは、1日1回自動洗浄（17ページ）を行い、排水ホースから排水します。〕

③フィルターで小さな汚れをキャッチします。

④浄化した湯とオゾンを吹出して浴槽の湯を殺菌します。
〔オゾン殺菌とは、浴槽内の湯へ断続的（5分間発生 ⇄ 25分間停止）にオゾンを送込み、一般細菌の増殖や浴槽のヌメリの付着などを抑制します。〕

■オゾン発生中に異臭がすることがあります。これはオゾン独特の臭いであり、製品の故障ではありません。



湯温を設定する

湯温／時刻設定スイッチを押すと35℃～45℃の範囲で湯温を設定することができます。
（お買上げ時は42℃に設定されています）

※本製品に沸上げ機能はありません。短時間で湯温を上げたいときは給湯器等で追焚き・さし湯などをしてください。

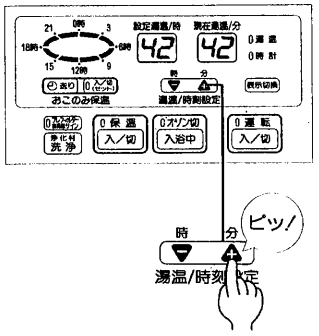
設定 保温（保温ランプ点灯）中に

時 分 湯温/時刻設定 の▽または△を押す

▽を押すと１℃ずつ下がり、△を押すと１℃ずつ上がります。（押し続けると早送りします）

■湯温設定は湯温表示中に操作します。時計表示中の場合は表示切換スイッチを押して湯温表示にしてから操作してください。

〈操作パネル〉



水流を切換える

吹出口から出る水流を、水流切換ツマミで標準・泡風呂または滝湯に切換えることができます。

標準 水流切換ツマミを中央（≋）にする

▼

吹出口から水流が出ます。

■オゾン殺菌中（10ページ）は、吹出口から泡も出ます。

泡風呂 水流切換ツマミを左（ ）へ回す

▼

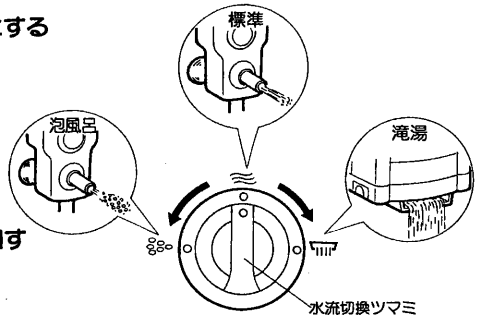
吹出口から泡が出ます。

滝湯 水流切換ツマミを右（ ）へ回す

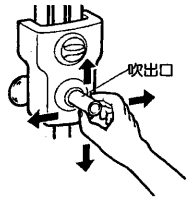
▼

滝湯口から水流が出ます。

■本体を浴槽のコーナーに置かずに、浴槽外の床面や出窓に置く場合は、滝湯口は付きません。



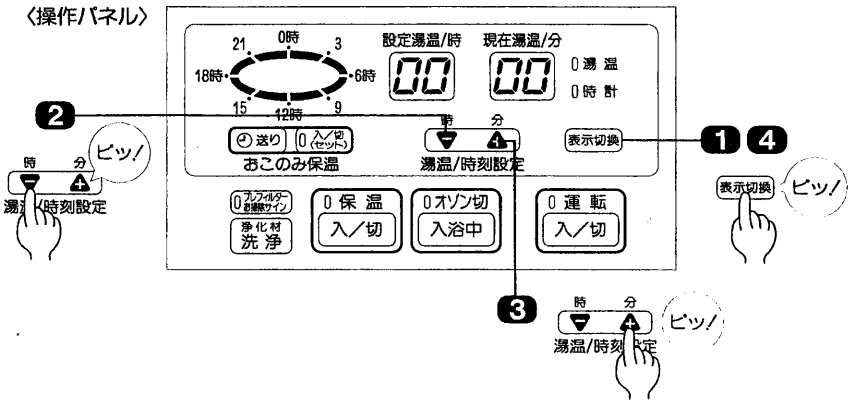
水流の吹出す方向を変える



現在時刻を設定する

現在時刻を設定（24時間制）すると操作パネルの時計表示とおこのみ保温（13ページ）を使うことができます。（お買上げ時は00時00分になっています）

〈操作パネル〉



1 運転（運転ランプ点灯）中に

表示切換 を押す

●時計ランプ点灯。
●“００ ００”が約10秒間点滅。

2 時 分 湯温/時刻設定 の▽を押す

押す毎に「時間」側の表示が１時間づつ進みます。（押し続けると早送りします）

3 時 分 湯温/時刻設定 の△を押す

押す毎に「分」側の表示が１分づつ進みます。（押し続けると早送りします）

4 表示切換 を押す

▼

設定湯温と現在湯温表示に切換わります。

操作 3 から約１分後、自動的に設定湯温と現在湯温の表示に切換わります。

確認 設定湯温と現在湯温表示中に

表示切換 を押す

●時計ランプが点灯。
●現在時刻を約１分間表示。

設定湯温と現在湯温の表示に戻すときはもう一度表示切換スイッチを押す。

変更 運転（運転ランプ点灯）中に

表示切換 を押す

●時計ランプが点灯。
●現在時刻を約１分間表示。

表示中に 2 ～ 4 の順に操作して現在時刻を変更する

おこのみ保温を使う

おこのみ保温を使うと、予約ランプが消灯している時間帯は35℃で保温し、点灯している時間帯になると設定湯温で保温を開始します。

本製品に沸上げ機能はありませんので、入浴するときはあらかじめ給湯器等で追焚き・さし湯などをしてください。

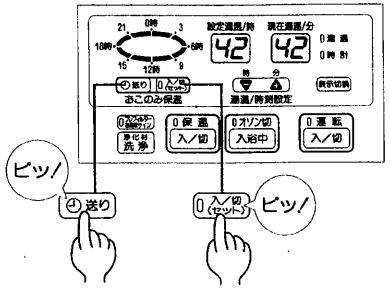
セット

運転(運転ランプ点灯)中に
(入/切(セット)) を1秒以上押す

- セットランプと予約時間帯の予約ランプが点灯。(お買上げ時は全て点灯)
- 保温ランプが点灯。

■操作パネルに"00 00"が点滅表示される場合は、現在時刻が設定されていません。
➡現在時刻(12ページ)を設定してから押し直してください。

〈操作パネル〉



解除

運転(運転ランプ点灯)中に
(入/切(セット)) を1秒以上押す

- セットランプが消灯。
- 予約ランプが全て点灯。

変更(取消しのしかた)

1 おこのみ保温(セットランプ点灯)中に
(送り) を押す [変更]
- 0～3時の予約ランプが10秒間点滅。

2 点滅中に取消したい時間帯まで
(送り) を押す [送り]
押す毎に予約ランプが3時間単位で進みます。

3 点滅中に
(入/切(セット)) を押す [取消]
取消す時間帯の予約ランプが点灯 ➡ 点滅(点灯時間の短い点滅)に切換わります。

約10秒後 ▼ 変更を続ける場合は送りスイッチを押す(操作 2 ～)

予約ランプが点滅 ➡ 消灯に切換わり 取消確定

変更(予約のしかた)

1 おこのみ保温(セットランプ点灯)中に
(送り) を押す [変更]
- 0～3時の予約ランプが10秒間点滅。

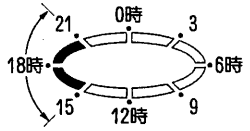
2 点滅中に予約したい時間帯まで
(送り) を押す [送り]
押す毎に予約ランプが3時間単位で進みます。

3 点滅中に
(入/切(セット)) を押す [予約]
予約する時間帯の予約ランプが消灯 ➡ 点滅(点灯時間の長い点滅)に切換わります。

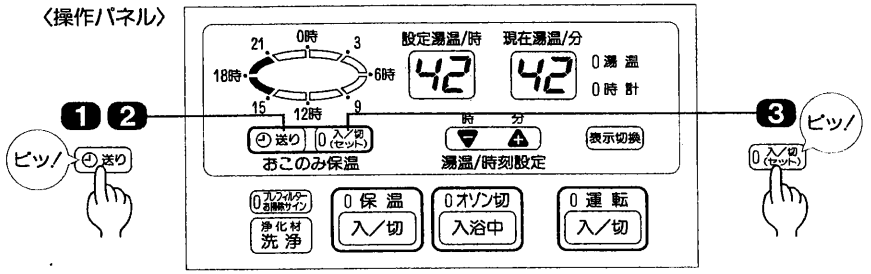
約10秒後 ▼ 変更を続ける場合は送りスイッチを押す(操作 2 ～)

予約ランプが点滅 ➡ 点灯に切換わり 予約確定

●予約時間の変更例…15～21時のおこのみ保温予約時間帯を変更する



〈操作パネル〉



15～18時の予約時間帯を取消す

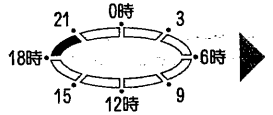
1 おこのみ保温(セットランプ点灯)中に
(送り) を押す [変更]
- 0～3時の予約ランプが10秒間点滅。

2 点滅中に15～18時の時間帯まで
(送り) を押す [送り]

3 点滅中に
(入/切(セット)) を押す [取消]
15～18時の予約ランプが点灯 ➡ 点滅(点灯時間の短い点滅)に切換わります。

約10秒後 ▼ 変更を続ける場合は送りスイッチを押す(操作 2 ～)

15～18時の予約ランプが点滅 ➡ 消灯に切換わり 取消確定



変更した時間帯でおこのみ保温を開始します。

21～0時の予約時間帯を追加する

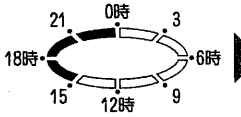
1 おこのみ保温(セットランプ点灯)中に
(送り) を押す [変更]
- 0～3時の予約ランプが10秒間点滅。

2 点滅中に21～0時の時間帯まで
(送り) を押す [送り]

3 点滅中に
(入/切(セット)) を押す [予約]
21～0時の予約ランプが消灯 ➡ 点滅(点灯時間の長い点滅)に切換わります。

約10秒後 ▼ 変更を続ける場合は送りスイッチを押す(操作 2 ～)

21～0時の予約ランプが点滅 ➡ 点灯に切換わり 予約確定

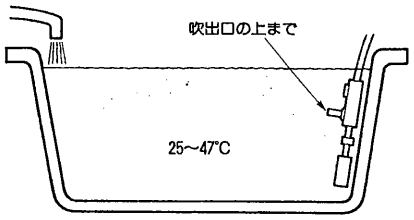


変更した時間帯でおこのみ保温を開始します。

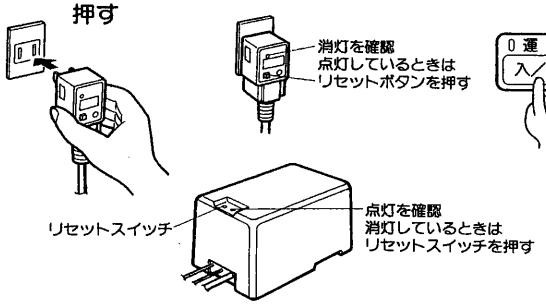
呼び水のしかた

初めてお使いいただくときやお手入れのあとは、呼び水（循環ポンプに湯を送り込む）を行ないます。
※循環ポンプ内の湯が不足したまま運転すると、ポンプが空転して運転音が大きくなります。

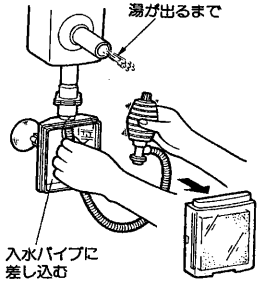
1 浴槽に湯を張る



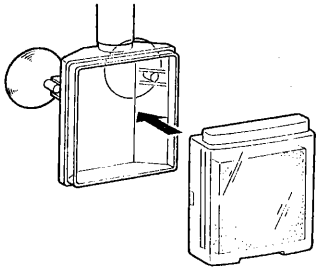
2 漏電保護プラグを差込み、電源トランスのリセットスイッチを押す



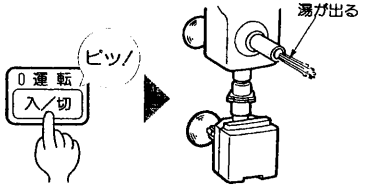
3 プレフィルターケースを外して呼び水用ポンプを差込み、ポンプを動かして湯を送込む



4 呼び水用ポンプを抜いてプレフィルターケースを付ける

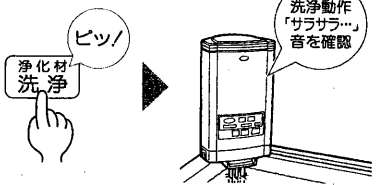


5 運転スイッチを１秒以上押す



■操作パネルに“C２”が表示されたときは呼び水が不足しています。➡運転スイッチを押して「切」にし、もう一度呼び水を行なってください。
手順 **3** ～

6 浄化材洗浄スイッチを１秒以上押す



■「サラサラ…」音が聞こえないとき
➡16ページ

約30秒後

自動的に運転を開始します。

お手入れと交換のめやす

プレフィルターや浄化材・ホースの内側が汚れると、湯の循環が悪くなり、浄化・殺菌・保温能力が低下します。浴槽内の湯の汚れ・臭いがひどいとき、操作パネルにエラー表示（23ページ）されたときは下記の表をめやすにお手入れまたは消耗品の交換を行なってください。

品　名	お手入れ	交　換
プレフィルター	１日１回（18ページ）	約半年または破損時（18ページ）
浄化材(特殊活性炭)	自動洗浄：１日１回（17ページ）	約２年（21ページ）
フィルター	―――	約２年または破損時（21ページ）
ホースの内側と本体内部	約１年（19ページ）	―――

■上記のめやすは、浴槽の大きさや使用環境などにより異なります。
■消耗品をお買求めになられる場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」（別紙一覧）にお問合わせください。

お手入れと交換のポイント

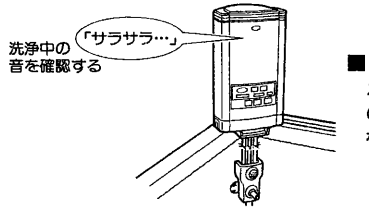
プレフィルターや浄化材の洗浄（自動または手動）・交換をするときは、以下のポイントを押さえて正しく確実に行なってください。

プレフィルター
➡18ページ　ポイント

■目詰まりがひどいときは新しいプレフィルターと交換してください。

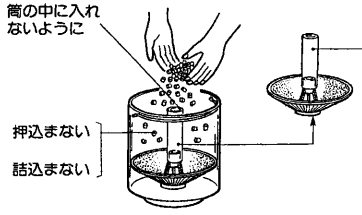
浄化材

洗浄
➡17ページ　ポイント



■「サラサラ…」音が聞こえないときは下記の交換のポイントを参考に浄化材を入れ直してください。

交換
➡21ページ　ポイント



■浄化材を筒の中に入れたり、押込みすぎると浄化材の攪拌（サラサラ…音）ができなくなり、浄化機能が正しくはたらきません。

浄化材を洗浄する

運転中は、浄化材の性能を維持するため１日１回、吸込口から浴槽の湯を吸込み、ろ過槽内で浄化材を攪拌し、付着した汚れを洗い落とします。[自動洗浄]
浄化材を洗浄しないと、浴槽の湯が汚れますので洗浄動作「サラサラ…」音を確認してください。

自動 **運転(運転ランプ点灯)中に**

○現在時刻（12ページ）を設定する　➡ 毎日12時になると自動洗浄を開始します。
○現在時刻（12ページ）を設定しない　➡ 運転を始めてから24時間毎に自動洗浄を開始します。

■運転をはじめてから５日間以上入浴中スイッチを押さないと、浴槽の湯減りを防ぐため自動洗浄を停止します。
➡入浴するときは、必ず入浴中スイッチ（10ページ）を押してください。

手動 **運転(運転ランプ点灯)中に**
浄化材 洗浄 **を１秒以上押す**

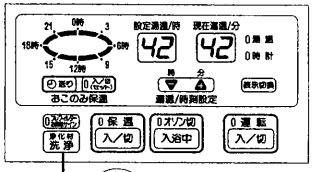
本体から、浄化材を攪拌している「サラサラ…」音が聞こえる

排水ホースから汚れた湯が出る

約30秒後
洗浄を終了して、自動的に運転を開始します。

■浄化材の洗浄（自動・手動）は、１回につき約６Ｌの浴槽の湯を排水します。
➡定期的に湯量を確認し、少ないときはたし湯をしてください。

〈操作パネル〉



■「サラサラ…」音が聞こえないときは、16ページのポイントを参考に浄化材を入れ直してください。

■排水ホースから黒い微粉末が若干出ますが多量にでる時➡24ページを参照してください。

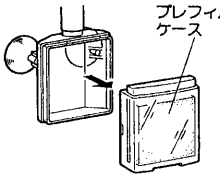
停止 **洗浄中に**
浄化材 洗浄 **を１秒以上押す** ▶ 洗浄を停止して、自動的に運転を開始します。

プレフィルターを洗う・交換する

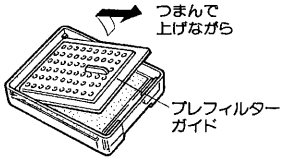
プレフィルターが目詰まりすると操作パネルのプレフィルターお掃除サインのランプが点滅して約６時間後、自動的に運転を停止しますので１日１回は以下の手順でプレフィルターを洗浄してください。
また、破損や目詰まりがひどいときは新しいプレフィルターと交換してください。

1 運転スイッチを「切」にする

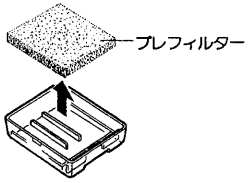
2 プレフィルターケースを取外す



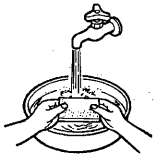
3 プレフィルターガイドを取外す



4 プレフィルターを取出す



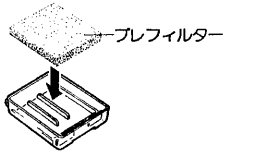
5 水またはぬるま湯ですすぎ洗いする



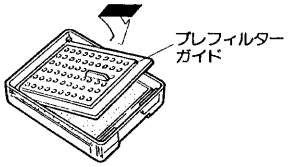
■汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を使用してください。

取付けかた

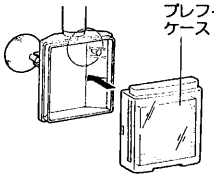
1 プレフィルターを入れる



2 プレフィルターガイドを取付ける



3 プレフィルターケースをはめる



4 運転スイッチを「入」にする

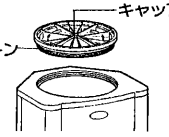
■操作パネルに“C２”が表示されたときは呼び水が不足しています。➡運転スイッチを押して「切」にし、呼び水を行なってください。
➡15ページの手順 **3** ～

ホースの内側と本体内部を洗う

プレフィルターや浄化材の洗浄を行なっても、長期間（使用環境にもよりますが約１年）使用すると、ホースの内側や本体内部に湯あかや汚れが付着して吹出口からのお湯の出が悪くなります。風呂の残り湯などを利用して市販の排水パイプ用洗剤などで定期的に洗浄してください。

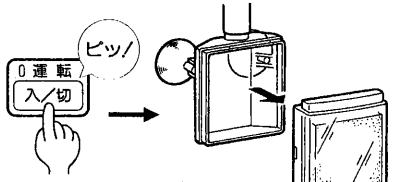
キャップ締付け時のお願い

一度開ける方向へ回し、「カチッ」とネジ部がかみあうところから締める方向へ回して、付属のキャップレンチでしっかり締付けてください。
※締付けがゆるいと、水漏れや浄化材の洗浄機能が正しくはたらきません。

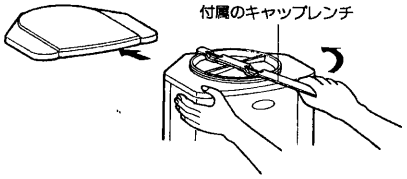


取出しかた

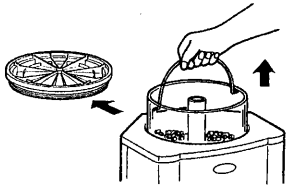
1 運転スイッチを「切」にしてプレフィルターケースを外す



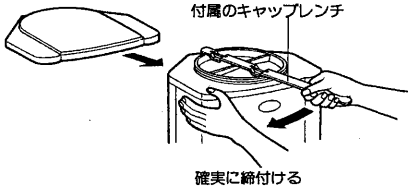
2 トップカバーを外してキャップを回しながら開ける



3 ろ過槽を取出す

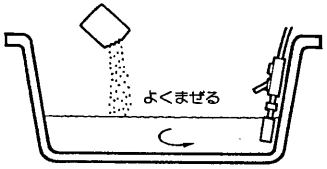


4 キャップを締付けてトップカバーをかぶせる

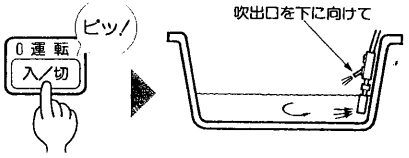


洗浄のしかた

1 吹出口の下まで浴槽の湯を抜き、市販の排水パイプ用洗剤を入れる



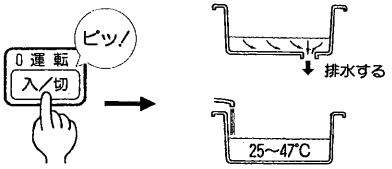
2 運転スイッチを「入」にして湯を半日程度循環させる



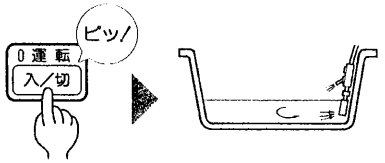
■運転中に浄化材洗浄スイッチ（17ページ）を数回押して排水ホースの内側も洗浄してください。

■滝湯を使用している場合は、滝湯への水流切換えも行なってください。

3 運転スイッチを「切」にして浴槽の湯を入替える



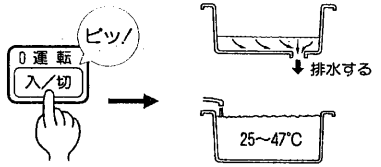
4 運転スイッチを「入」にして浴槽の湯を30分間程度、循環させる（洗剤のすすぎ）



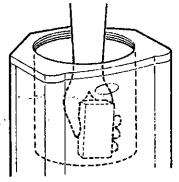
■操作パネル“C２”が表示されたときは運転スイッチを「切」にしてから呼び水を行なってください。
15ページの手順 3 ～

■滝湯を使用している場合は、滝湯への水流切換えも行なってください。

5 運転スイッチを「切」にして浴槽の湯を入替える

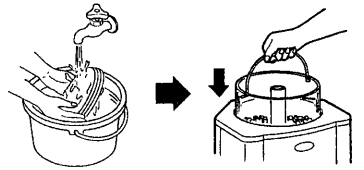


6 トップカバーを外してキャップを開け、ろ過ケース内の汚れをふきとる

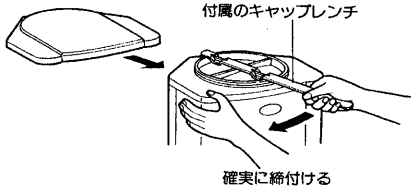


戻しかた

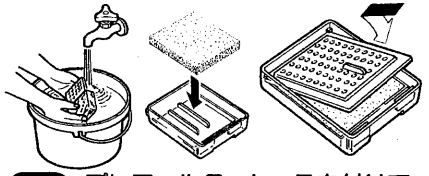
1 トップカバーとキャップを洗ってろ過槽を戻す



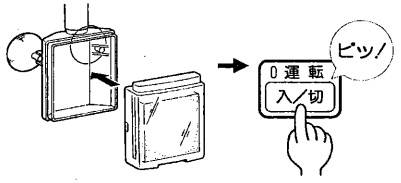
2 キャップを締付けてトップカバーをかぶせる



3 プレフィルターケースとガイドを洗ってプレフィルターを入れる



4 プレフィルターケースを付けてから運転スイッチを「入」にする



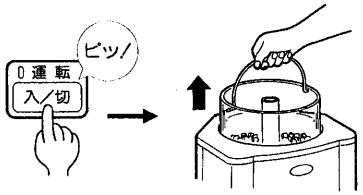
■運転直後は浴槽内の湯が濁ることがあります。➡浴槽の湯を入替えてください。

浄化材とフィルターを交換する

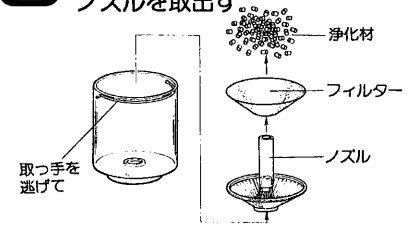
浄化材とフィルターは消耗品（使用環境にもよりますが寿命は約２年）です。浴槽内の湯の汚れや臭いがひどくなるまえに、以下の手順で定期的に交換してください。

取出しかた

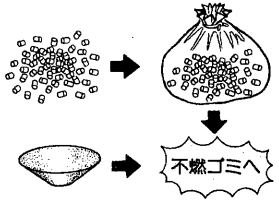
1 運転スイッチを「切」にしてろ過槽を取出す



2 ろ過槽から浄化材・フィルター・ノズルを取出す



3 取出した浄化材とフィルターを処分してノズルを洗う

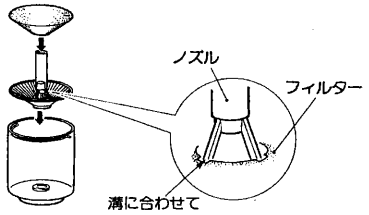


4 新しい浄化材を開封し２～３回、軽くすすぎ洗いする

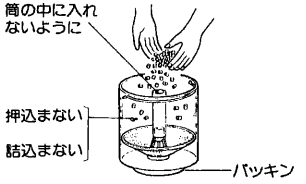
■洗剤などは使わないでください。➡浄化性能が低下します。

戻しかた

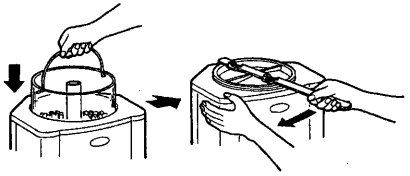
1 ろ過槽にノズルとフィルターを入れる



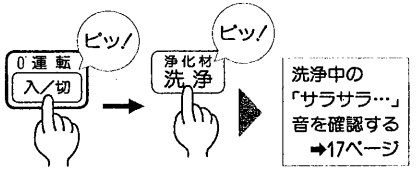
2 16ページのポイントを参考にろ過槽に浄化材を入れる



3 パッキンを確認してろ過槽を戻し、キャップを締付けてトップカバーをかぶせる



4 運転スイッチと浄化材洗浄スイッチを「入」にする



■交換直後、浴槽内と排水ホースから浄化材の黒い微粉末が若干出ますので、取除いてください。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	処　置
スイッチを押しても応答しない	運転・保温・入／切（セット）・浄化材洗浄のスイッチは誤動作を防ぐため１秒以上押さないと応答しません。応答するまで押し続けてください。	
運転ランプが点灯しない（運転できない）	停電していませんか？	停電中は運転できません。停電が復帰するまでお待ち下さい。 ➡25ページ
	コンセントに漏電保護プラグが差込まれていますか？	コンセントに漏電保護プラグを差込んでください。
	漏電保護プラグの漏電ランプが点灯していませんか？	漏電保護プラグのリセットボタンを押してください。それでも漏電ランプが点灯しているときは、使用を中止して漏電保護プラグを抜き、据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	電源トランスの通電ランプが消灯していませんか？	停電したり、本体や電源トランスが傾く・倒れると電源トランスの通電ランプが消灯します。停電復帰後、または傾き・倒れを直してから電源トランスのリセットスイッチを押してください。
	運転スイッチが「入」になっていますか？	運転スイッチを押して「入」にしてください。 ➡９ページ
浴槽の湯温が上がらない（保温できない）	保温スイッチが「入」になっていますか？	保温スイッチを押して「入」にしてください。 ➡９ページ
	おこのみ保温を使っていませんか？	本製品に沸上げ機能はありませんので、入浴するときはあらかじめ給湯器等で追焚き・さし湯などをしてください。 ➡13ページ
	浴槽中の湯温が24℃以下になっていませんか？	24℃以下の場合、保温機能が停止します。給湯器等で追焚き・さし湯などをして25～47℃に上げてください。 ➡７ページ
	冬期、放熱量の大きい浴室では湯温が設定湯温まで上がらないことがあります。（特に強制循環形式の外釜用風呂は放熱量が大きくなります。）	入浴するときにあらかじめ給湯器等で追焚き・さし湯などをしてください。また、ご使用時やお手入れ以外は、風呂蓋やスーパーマーケットなどで市販されている浴槽用保温シートを利用して保温効果を高めてください。
夏期、設定湯温よりも浴槽の湯温が上がりすぎる	保温スイッチを「切」にしても本体内部の循環ポンプの熱で湯温が上がります。	本製品に湯温を下げる機能はありませんので、入浴するときはあらかじめ水をたすなどして湯温を下げてください。
おこのみ保温がセットできない	現在時刻が設定されていますか？	現在時刻が設定されていない場合、おこのみ保温をセットすると操作パネルの“００ ００”が点滅しますので、現在時刻を合わせてからセットしてください。 ➡12ページの操作❷～

症　状	原　因	処　置
プレフィルターお掃除サインが点滅する	●プレフィルターが目詰まりしていませんか?	●運転を停止してプレフィルターをお手入れしてください。 ➡18ページ
	●ホースの内側などに湯あかや汚れが付着していませんか?	●運転を停止してホースの内側などをお手入れしてください。 ➡19ページ

操作パネルの“設定湯温／時”側に下記エラー内容を表示して運転状況または異常をお知らせします。

表　示	原　因	処　置
C2	浴槽内の湯が不足していませんか? 呼び水が不足していませんか?	浴槽内に湯を張ってもう一度呼び水を行なってください。 ➡15ページ
C3	浴槽内の湯温が高温（48℃以上）になっていませんか?	水をたすなどして浴槽内の湯温を下げて（25～47℃）から呼び水を行ない、運転スイッチを押し直してください。 ➡9、15ページ
C4 C5	プレフィルターや浄化材・ホースの内側や本体内部が目詰まりしていませんか?	運転を停止してプレフィルターや浄化材・ホースの内側や本体内部をお手入れしてください。 ➡17～20ページ
U2	最近5日間以内に入浴中スイッチを押しましたか?	運転をはじめてから5日間以上入浴中スイッチを押さないと、浴槽の湯減りを防ぐため自動洗浄を停止し“U 2 ”を表示します。浄化材洗浄スイッチを押して洗浄を行なってください。 ➡17ページ
U3	浴槽内の湯温が低温（24℃以下）になっていませんか?	給湯器等で追焚き・さし湯などをして浴槽内の湯温を上げて（25～47℃）ください。 ➡7ページ
A4 E0 E1 P5 ～ P9	故障です。	コンセントから漏電保護プラグを抜いて、据付工事店（販売店）にエラー表示をご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
湯が汚れる ヌメリが付着する 異臭がする	浴槽内で身体を洗ったり、入浴剤などを使用していませんか?	浴槽内で身体を洗ったり、入浴剤などを使用すると、浄化性能が落ちます。 ➡4ページ
	1日に多くのかたが入浴していませんか?	入浴する人数が多い場合、湯の浄化に時間がかかります。入浴まえに身体をよく洗い流してから入浴してください。
	湯の循環の悪い吸込口や吹出口、各ホースの周囲や裏側などには若干のヌメリが付着します。ヌメリが付着したときは、スポンジなどで落としてください。	
	プレフィルターケースにプレフィルターが入っていますか?	プレフィルターを入れてください。➡18ページ
	プレフィルターが汚れていませんか?	1日に1回はプレフィルターを洗ってください。 ➡18ページ
	浄化材を洗浄（自動または手動）しているとき「サラサラ…」音は聞こえますか?	16ページのポイントを参考に浄化材を正しく入れ直してください。
	ホースの内側や本体内部が汚れていませんか?	1年に1回はホースの内側と本体内部を洗ってください。 ➡19ページ
	浄化材の性能低下	使用環境にもよりますが、2年に一度は浄化材の交換が必要です。 ➡21ページ
運転中、浴槽内に黒い微粉末が出る 浄化材の洗浄中、排水ホースから黒い微粉末が出る	使い始め若干の微粉末が出ることがあります。	浄化材洗浄スイッチを押して、3回程度浄化材の洗浄を行なってください。 ➡17ページ
	本体のキャップは確実に締付けてありますか?	付属のキャップレンチを使用して確実に締付けてください。 ➡20ページ
	ろ過槽が浮いたり、傾いて入っていませんか?	ろ過槽を正しく入れ直してください。 ➡21ページ
	ろ過槽内にフィルターが入っていますか?	フィルターを入れてください。 ➡21ページ
	ろ過槽内のフィルターが浮いていませんか?	溝に合わせてフィルターを入れ直してください。 ➡21ページ
本体から湯が漏れる	本体のキャップは確実に締付けてありますか?	付属のキャップレンチを使用して確実に締付けてください。 ➡20ページ

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず漏電保護プラグを抜いてから、据付工事店（販売店）か、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」（別紙一覧表）にご相談ください。

10日以上使用しないとき

浄化材の劣化（5日間で浄化材の自動洗浄が停止します）を防ぐために、浄化材をすすぎ洗いし、乾燥させて保存します。

1 運転スイッチを「切」にして漏電保護プラグを抜く

2 ろ過槽を取出して浴槽の湯を抜く（本体内部の湯も抜けます）➡21ページ

3 浄化材（21ページ）とプレフィルター（18ページ）を取出して軽くすすぎ洗いし、天日で乾燥させる

4 浄化材（直射日光の当たらない湿気の少ない屋内）とプレフィルターを保管する

5 ろ過槽を戻してキャップを締付け、トップカバーをかぶせる ➡21ページ

使用 ふたたび使用するときは、浄化材を入れ（21ページ）、呼び水（15ページ）をしてプレフィルターを取付けて（18ページ）から運転を開始します

停電したとき

停電したときは、電源トランスの通電ランプが消灯して運転が自動的に停止します。

使用 停電が復帰してから、電源トランスのリセットスイッチを押して通電ランプの点灯を確認し、本体の運転スイッチを「入」にします。➡9ページ

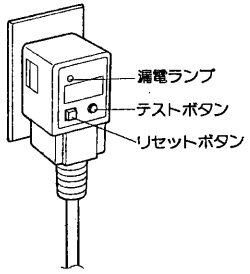
■設定内容が変わっている場合は、もう一度設定し直してください。
●設定湯温（11ページ）、●現在時刻（12ページ）、●おこのみ保温予約時間（13ページ）

●漏電保護プラグ（漏電しゃ断器）の点検 〈月に一度〉

コンセントに漏電保護プラグが差込まれている状態（漏電ランプ消灯中）で、

①テストボタンを押す ➡ 漏電ランプが点灯すれば正常です。
※点灯しないときは漏電保護プラグを抜いて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

②正常な場合はリセットボタンを押す ➡ 漏電ランプが消灯します。



保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日・据付工事店（販売店）名」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店（販売店）からお受取りください。
●内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日より1年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

●24時間風呂の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年間です。
●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理・取扱い・お手入れなどのご相談は

●修理に関するご相談ならびにご不明な点は、据付工事店（販売店）または三菱電機サービスセンターか三菱電機お客さま相談窓口（別紙一覧表）へお問合わせください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（22～24ページ）に従ってお調べください。なお不具合があるときは、漏電保護プラグを抜いて、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

●保証期間は…
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書の内容に従って据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは…
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

●修理料金は…
技術料＋部品代（＋出張料）で構成されています。

ご連絡いただきたい内容

①品　　名：三菱24時間風呂
②形　　名：BJ-101
③お買上げ日：　年　月　日
④故障の内容とエラー表示（23ページ）
※できるだけ詳しく
⑤お名前・ご住所（付近の目印なども）
電話番号・訪問希望日

●定期点検のお願い（有料）

■24時間風呂を安全に少しでも長くご使用いただくため、約2年ごとに定期点検（有料）を行なってください。
■定期点検については、据付工事店（販売店）または三菱電機サービスセンターへご相談ください。

仕　様

本製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

寸　　法	本　　体：幅280㎜×奥行218㎜×高さ500㎜ 電源トランス：幅205㎜×奥行320㎜×高さ186㎜
質量（重量）	本体：約11kg、電源トランス：約16kg
電　　源	AC100V（50／60Hz）
消費電力	670W
安全装置	●漏電保護プラグ（漏電しゃ断器）　●湯温過昇防止器 ●転倒防止金具　●転倒検知装置 ●ポンプ空運転防止装置　●過電流防止装置 ●ヒーター空焚き防止装置　●絶縁トランス
温度調節範囲	35～45℃（設定：1℃毎）
浴槽容量	最大300L迄
浄化殺菌方式	特殊活性炭（物理ろ過＋生物ろ過）＋オゾン殺菌
表　　示	湯温（設定／現在）と現在時刻を選択、おこのみ保温時間帯
同梱付属品	取扱説明書［一式］　吹出ユニット［1個］　吸込ユニット［1個］ 滝湯口［一式］　電源トランス［1個］　プレフィルター［2枚］ 浄化材［1袋］　逆止弁［1個］　転倒防止金具［一式］ 接続用ホース［一式］　水流切換ツマミ［1個］　滝湯キャップ［1個］ 特殊エルボ［2本］　ラバー［2個］　アース線［1本］ キャップレンチ［1本］　呼び水用ポンプ［1個］

愛情点検

★長年ご使用の24時間風呂の点検を！

●24時間風呂の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。

ご使用の際にこのようなことはありませんか？	ご使用中止
●コゲくさい臭いがする。 ●運転中に異常な音がする。 ●漏電保護プラグが異常に熱い。 ●時々漏電保護プラグ（漏電しゃ断器）がはたらく。 ●その他の異常・故障がある。	故障や事故防止のため、運転を中止し、コンセントから漏電保護プラグを抜いて据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

サービスを依頼するときに便利です

ご購入（据付け）年月日 ➡　　年　　月　　日

据付工事店（販売店）名

TEL：（　　）

三菱電機株式会社
群馬製作所　〒370-04 群馬県新田郡尾島町大字岩松800
TEL（0276）52-1111（代表）

T935Z002H03